

住まいと暮らしの、いいヒント

ペイント編

No.02

 ジャンボエンチョー

DIYハンドブック 木製品の塗装

美しく仕上げるポイントは、ここ！
道具選びからワンポイントアドバイスまで。
初めてでもカンタンにできるテクニック満載！


ENCHO

さっそくトライ！

はじめに

塗料を使って、古い木製家具を、新しく生まれかわらせましょう。



※完成後の写真は裏面をご覧ください。

手順

サンディング

表面の古い塗装をはがし、塗料が乗りやすいよう家具の表面を【紙やすり】などで荒します。

マスキング

塗装しない部分や色の切り替え部などに【塗料】がつかないように、【マスキングテープ】などを使ってマスキングします。

色塗り

【すじかいバケ】や【コテバケ】など適切なハケを使って全体の色を塗っていきます。

作業する時の注意

- 作業は換気のいい場所で行いましょう。また晴れた日の方が塗料の乾きがスムーズですが、あまり暑い日や冬場は避けた方が無難です。
- 服装は汚れてもいいものを。【マスク】や【ゴーグル】【手袋】もお忘れなく。

塗装に適した日

お店で揃える材料は

□ 必要な材料と道具

材 料

【水性塗料】

木製品などの塗り替えには、扱いやすく色彩が豊富な【水性塗料】が適しています。



道 具

【紙やすり】

【紙やすり】は裏面の数字が大きくなるほど目が細かくなります。サンディングには240番が適しています。目詰まりしにくいメッシュタイプのものであれば、作業がよりスムーズです。



【サンダー】

【サンダー】があると特に広い面のサンディング作業がさらにカンタンになります。



【マスク・ゴーグル】

サンディングの際には細かな粉塵やホコリが出ます。目や喉はしっかり保護しましょう。

【マスキングテープ】 【布コロナマスク】

塗料が付くと困る場所は予め【マスキングテープ】でカバーします。広い面を覆う時には【布コロナマスク】があるとさらに便利です。

【すじかいバケ】 【コテバケ】

【すじかいバケ】は水性塗料用または万能型の多用途用を使用します。また広い面を均一に塗るには【コテバケ】が便利です。

水性
塗料用



【受け皿】 【ウェス】 【手袋】

作業をはじめましょう

① そうじ&パーツとりはずし

今回は機の塗装です。まずは引き出しなど、とりはずしできるものはすべてはずし、かたくしぼった雑巾で拭き掃除をしておきましょう。

② サンディング

【紙やすり】などで古い塗装を落とし、新しい塗料を乗りやすくします。

広い面のサンディングや時間短縮には【サンダー】を使うと便利です。



【紙やすり】は木目にそってかけていきます。木片などに【紙やすり】を巻きつけると、作業がしやすくなります。



【紙やすり】について

【紙やすり】は裏面の数字の大きいものほど目が細くなります。木製品のサンディング用には240番の【紙やすり】を使用しましょう。【紙やすり】には通常タイプ、耐水タイプの他、目詰まりしにくいメッシュタイプのものなどもあります。

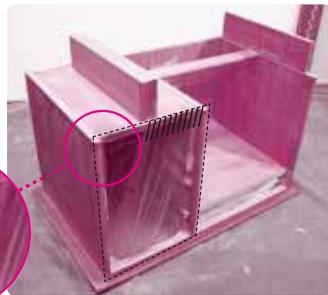


③ マスキング

【水性塗料】をつけたくない部分をマスキングしていきます。

塗装しない部分の際に沿って【マスキングテープ】を貼ります。広い面は新聞紙などで覆いましょう。

※見えない部分もマスキングしましょう。



【布コロナマスク】を使った引き出しのマスキング

引き出しなど広い面のマスキングには【布コロナマスク】を使うと便利です。テープの端にビニールシートがついているので広い面のマスキングが楽になります。



引き手・鍵穴など細部のマスキング

細部もしっかりマスキング。マスクする部分を大きめに【マスキングテープ】で覆い、その後からパーツの形に沿ってカッターで切り抜きます。



作業は表面に続きます▶▶▶

作業の続き

④ [水性塗料]の準備

まずは塗料の缶をよく振って混ぜ、使用する分を【受け皿】に出します。

受け皿の塗料は時間が経つと粘度が増えますが、この際にはうすめ液として水を加えます。

※この際、塗料缶の中ではうすめないようにしましょう。



※受け皿にビニール袋をかぶせておくと、片付けが楽です。

⑤ 塗装

まずは、【すじかいバケ】を使用して細部や塗りにくいところから塗装をはじめます。

細かい部分が塗れたら、次に【コテバケ】を使って広い面を塗っていきましょう。

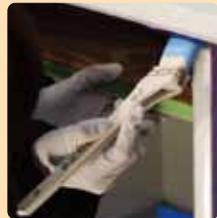


メインの机が塗れたら、同じように引き出しも塗り上げます。



【ハケ】の持ち方

ハケは細かな作業がしやすいよう鉛筆と同じように握りましょう。



⑥ 乾燥

塗りおえたら、塗料を乾燥させます。乾燥時間は条件によって異なりますのでよく確認しましょう。

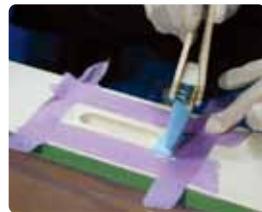
※完全に乾ききる前に【マスキングテープ】を剥がしておきましょう。

⑦ 別色の塗り

これまでと同様に、【水性塗料】をつけたくない部分をマスキングします。

※別色は1色目が完全に乾ききってから塗りましょう。

別色を塗って完成です。



eco! なマメ知識!

塗料のあと始末

使い残した塗料缶はフタをしっかりと密閉しておけば、また使用することができます。また開口部に塗料が残っているとフタが固まってしまうのでキレイに拭き取っておきましょう。【受け皿】や【ハケ】に残った塗料は新聞紙などでよく拭き取り、水で洗い流したあと陰干しをします。

事前準備チェックリスト

水性塗料

木製品などの塗り替えには、扱いやすく色彩が豊富な**【水性塗料】**が適しています。

すじかいバケ・コテバケ

ハケは水性塗料用または万能型の多用途用を選びましょう。
広い面を塗るには**【コテバケ】**が便利です。

紙やすり・サンダー

【紙やすり】は裏面の数字が大きくなるほど目が細かくなります。
サンディングには240番が適しています。
【サンダー】は、手軽にサンディングができる電動工具です。

マスキングテープ・布コロナマスク

塗料が付くと困るところをカバーするためのテープです。
広い面のマスキングには**【布コロナマスク】**があると便利です。

受け皿

塗料は使う分だけを**【受け皿】**に出して使いましょう。

手袋

手の汚れやケガを防ぐため**【手袋】**をお忘れなく。

ゴーグル&マスク

サンディングの際には細かな粉塵やホコリが出ます。目や喉はしっかり保護しましょう。

ウェス

塗料の拭き取りやハケの後始末などに必要です。いらぬ雑巾や布で十分です。

注意) ご自宅にあるものでも構いません。

商品の詳しい使い方は、それぞれの説明書をご覧ください。

掲載商品の写真は実際の商品と異なる場合もございます。



ENCHO



エンチャーweb サイト
はこちらから!

発行/(株)エンチャー

〒417-0052 静岡県富士市中央町2丁目12番12号

 **0120-57-0803** <http://www.encho.co.jp/>



エンチャーグループは
ISO14001の認証を
取得しています。



ISO14001:2004 認証番号

この小冊子は、環境保護のため再生紙を使用しています。

No.02-1706